

第3回桑名員弁地区市民活動センター情報交換会議事録

日時 2018年11月6日(火) 13:30~15:30

場所 いなべ市市民活動センター会議室
(員弁老人福祉センター)

1. 出席者 別紙参加者名簿のとおり 14名

1. 議事 ○ボランティア活動(員)を増やすためにどうすればよいか。

社会的活動とミスマッチしている活動が多い。(サークル活動)

社会の課題が見えているのか、見ようとしていない。(当事者でないと発展しない)

高校生ボランティアはお試しで現場に来てもらうことによって団体の活動を知ってもらう。大人になり戻ってきてくれることを期待している。

団体がミッションの共有ができてきているのか、年月が経つとそれがぶれている。

ボランティアには①災害ボラ②東京オリンピック(イベント)などのボラ③特技を活かしたボラ④定年後の余暇ボラ がある。

①②ミッションとゴールが明確 ③④仲良しサークルは淘汰されてしまう。

中学生・高校生に団体の活動を知ってもらうためにお試しで来てもらう。

先生に説明し理解してもらう。そうしたら生徒が参加しやすくなった。

・情報発信について

ターゲットに合った発信の仕方が重要(シニアは機関誌 若年層はSNS)

時代に応じた発信をしていきたい。

行政と一緒に考えることができるといい。

・社協と市民活動センターについて

いなべは団体が社協と市民活動センター両方に登録し共有していることが多い。

東員町と桑名市は、いまのところ社協との連携はない。

・企業とボランティアについて

デンソーのような仕組みになっている企業は少ない。

市内の企業、社員の自発的なボランティア活動は少ない。

○今後取り組んでいきたい事業

桑名市 センターのPR

市の建物がまちづくりの拠点として使用できることになった。

東員町 団体のサポート 代表者会議でセンターへの要望をたずねる。

みえきた 幼少期からのボランティア教育の必要性を提言

企業や行政で新入社員に向けたNPO研修を呼びかける。

いなべ市 情報発信方法を検討

○次回開催会場 桑名市